

令和4年度

長野県幼児教育協議会

【オンライン開催】

講演

「『幼保小の架け橋プログラム』が 目指すこれからの園小接続の在り方」

文部科学省初等中等教育局幼児教育課

教科調査官 小久保 篤子 氏

令和4年11月21日(月)

13:00～16:30



12:45 13:00 13:10

14:30 14:45

16:15 16:30

受付	開会式	研究協議 (分科会)	休憩	講演	閉会式
----	-----	---------------	----	----	-----

対象

- ・公私立幼稚園、保育所、認定こども園、小学校の教職員等関係者
- ・県、市町村の幼児教育担当課、教育委員会職員

【研究協議テーマ】

テーマ1:「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、
幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について

テーマ2:「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、
幼児教育の質に関する認識の共有、家庭や地域との連携の在り方について

☆研究協議では、各自のレポートをもとに小グループに分かれて協議を行います。

☆参加を希望される方は、下記フォームで申込みの上、研究協議テーマ1、2のいずれかについて、開催要項とともに送付された様式(フォームでの申込み時にダウンロードすることもできます)を参考にレポート(A4・1ページ)を作成して、ご提出ください。

レポート提出先: shinshuyoji@pref.nagano.lg.jp (締切11/16)

お申し込みは
こちら

下記のURL又は二次元コードからお申し込みください。
<https://forms.gle/sz5GsPQD5RiesbRz5>

【申込締切】令和4年11月11日(金)



オールながので
園小接続につ
いて考えてい
てござる



学び応援キャラクター「信州なび助」
©長野県教育委員会信州なび助

令和4年度 長野県幼児教育協議会

開 催 要 項

- 1 目的** 幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園・保育要領及び保育所保育指針等、幼児教育に関する内容、幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園を取り巻く諸課題に関する内容、幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園を取り巻く諸課題に関する各園の成果の発表等及び研究協議主題等を行うことにより、幼児教育の一層の振興・充実を図る。
- 2 主催** 長野県、長野県教育委員会
- 3 期 日** 令和4年11月21日（月）
- 4 開催方法** オンライン（オンライン会議システムZoomを使用します）
- 5 参加対象** 公私立の幼稚園、保育所、認定こども園、小学校の教職員等関係者
県及び市町村の幼児教育担当課、教育委員会職員

6 日 程

12:45	13:00	13:10	14:30	14:45	16:15	16:30
受付 <small>Zoomによる入室</small>	開会式	研究協議（分科会）	休憩	講演	閉会式	

※ 前半の研究協議では、各自のレポート（9 参加にあたっての提出物 を参照）をもとに小グループに分かれて協議します。その内容を受け、講師に後半の講演をしていただきます。

7 講 演

演題：「『幼保小の架け橋プログラム』が目指すこれからの園小接続の在り方」
講師：文部科学省初等中等教育局幼児教育課 教科調査官 小久保 篤子 先生

8 参加申込み

- (1) 申込み先 希望者は、以下のURLまたは二次元コードからお申し込みください。
<https://forms.gle/sz5GsPQD5RiesbRz5>
※申込み後にZoomのID等を送付しますので、所属先のメールアドレスをご登録ください。（docomo、ezweb等はメールが届かない場合があります）



- (2) 申込み期限 令和4年11月11日（金）

9 参加にあたっての提出物

参加を希望される場合は、以下のテーマ1、テーマ2のいずれかについて、協議の視点①②の内容にそって実践等を基にしながら、別紙様式を参考レポート（A4・1ページ）を作成し提出してください。レポートの様式は、フォームでの申込み時にダウンロードすることもできます。

テーマ1 「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について

協議の視点① 幼児教育施設と小学校の先生方が、それぞれの保育・教育への理解を深め、架け橋期のカリキュラムを協働して作成するためには、どのようにしていけばよいか。

協議の視点② 「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論をもとに作成予定の架け橋カリキュラムと教育方法の手引き（仮案）や参考資料等を踏まえ、子供の発達や学びの連続性を確保するため、各園や学校としてこれから何に取り組んでいく必要があるのか。

テーマ2 「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、幼児教育の質に関する認識の共有、家庭や地域との連携の在り方について

協議の視点① “よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という目標を各施設と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」を実現していくため、幼児教育の質に関して社会との認識の共有を図り、地域や家庭との関係においても連携を強化していくためには、どのような取組や工夫が考えられるか。

協議の視点② 全ての子供のウェルビーイングを高めることが求められている中、幼児教育施設が有する機能を地域に開放し、地域の子供やその保護者を対象に子育ての支援を充実させていくためには、どのような取組や工夫が考えられるか。

10 レポート提出先及び諸注意

- Googleフォームを利用して申込み後、信州幼児教育支援センターにレポートをご提出ください。（ファイル名に【所属園・氏名】をつけてください）
レポート提出先：shinshuyoji@pref.nagano.lg.jp
提出期限：令和4年11月16日（水）
- 小グループでレポートを協議しますので、当日はレポートを画面共有するなどして発表できるよう、ご準備ください。
- ご提出いただいたレポートをもとに研究協議を行いますので、レポート内に使用する事例等、個人情報取り扱いについて配慮願います。